

2016年3月期 決算説明会

ウシオ電機株式会社

2016年5月11日

〈免責事項〉本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

USHIO

-
- I. **2015年度通期業績概況**
 - II. 2016年度業績予想
 - III. 中期経営計画

今回の決算発表のポイント

連結売上高、前年比12.4%増の1,791億円
連結営業利益は、前年比26.8%増の131億円の増収増益決算。

YoY+17.5%増収

装置事業

映像装置

YoY+16.5%増収、中国市場でのDCP新製品販売が奏功

光学装置

YoY+21.9%増収、ハイエンドスマートフォン用の電子部品と中小型液晶パネルの需要増などにより、電子部品用投影露光装置と光配向装置の出荷が増加

営業利益

YoY+17億円増益

YoY+7.3%増収

光源事業

放電ランプ

YoY+10.0%増収、シネマプロジェクター用クセノンランプと、固体光源事業の拡大が増収に寄与

ハロゲンランプ

YoY▲3.5%減収、OA用途において新興国の景気低迷の影響あり

営業利益

YoY+9%（9億円）増益

通期公表値・実績比較

(億円)	FY15 (公表値)	FY15 (実績)	差異	達成率 (%)
売上高	1,800	1,791	▲8	99.5%
営業利益	130	131	+1	101.0%
営業利益率 (%)	7.2	7.3	+0.1P	101.8%
経常利益	150	146	▲3	97.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	120	111	▲8	92.5%
EPS (円)	91.91	85.83	▲6.08	93.4%
ROE (%)	5.7	5.2	▲0.5P	91.6%
配当 (円)	26	26	+0	100.0%
配当性向 (%)	28.3	30.3	+2.0P	107.1%
設備投資額	96	132	+36	137.8%
減価償却費	72	64	▲7	90.2%
研究開発費	110	112	+2	102.1%
為替レート (円)				
USD	120	121	-	-
EUR	138	133	-	-

業績サマリー

(億円)	FY14	FY15	YoY		FY14	FY15	YoY	
	通期累計	通期累計	増減	%	4Q	4Q	増減	%
売上高	1,593	1,791	+197	+12.4	445	445	+0	+0.0
営業利益	103	131	+27	+26.8	39	26	▲13	▲34.1
営業利益率 (%)	6.5	7.3	+0.8P	-	8.9	5.9	▲3.0P	-
経常利益	137	146	+9	+6.7	45	15	▲29	▲65.7
親会社株主に帰属 する当期純利益	112	111	▲1	▲1.5	31	15	▲15	▲50.5
EPS (円)	86.40	85.83	▲0.57	▲0.7	23.92	11.98	▲11.94	▲49.9
為替レート (円)								
USD	109	121			119	118		
EUR	139	133			138	129		

為替による通期の 影響額 (億円)	売上高	営業利益	経常利益
対 USD	10	1	1

業績サマリー 《四半期比較》

(億円)	1Q	2Q	3Q	4Q	QoQ	
					増減	%
売上高	411	474	459	445	▲13	▲3.0
営業利益	23	42	39	26	▲13	▲34.1
営業利益率 (%)	5.7	8.8	8.6	5.9	▲2.8 P	-
経常利益	33	42	55	15	▲39	▲71.8
親会社株主に帰属 する当期純利益	26	28	40	15	▲25	▲62.3
EPS (円)	20.18	21.98	31.71	11.98	▲19.73	▲62.2
為替レート (円)						
USD	121	123	121	118		
EUR	133	136	133	129		

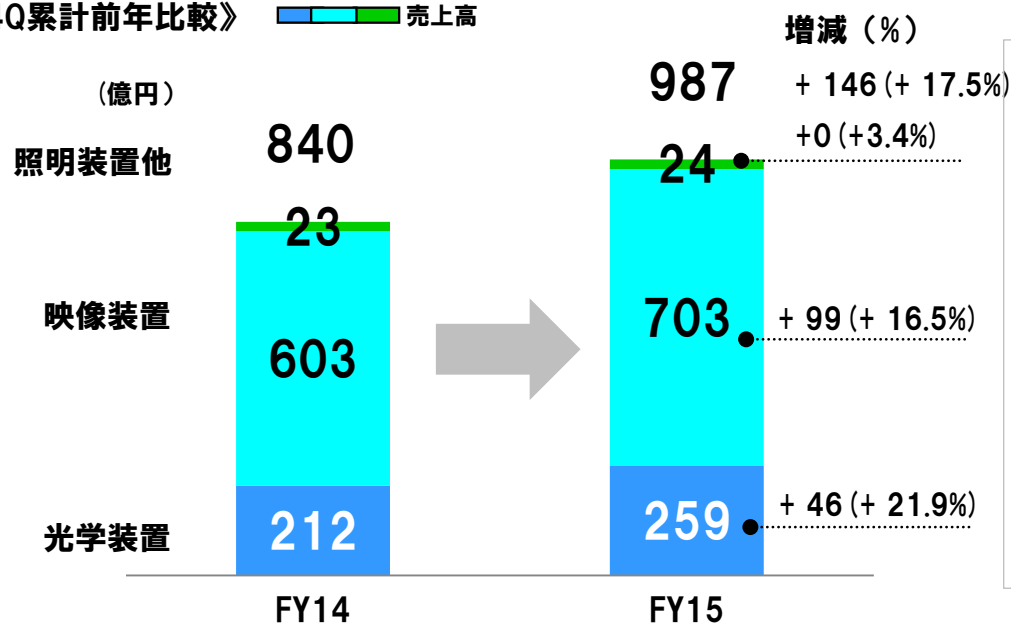
セグメント別 売上高、営業利益、営業利益率

(億円)		FY14	FY15	YoY		FY14	FY15	YoY	
		通期累計	通期累計	増減	%	4Q	4Q	増減	%
装置事業	売上高	840	987	+146	+17.5	240	245	+5	+2.1
	営業利益	▲0	17	+17	-	3	0	▲2	▲75.3
	営業利益率 (%)	▲0.0	1.7	+1.8P	-	1.4	0.3	▲1.1P	-
光源事業	売上高	719	772	+52	+7.3	194	189	▲4	▲2.4
	営業利益	100	109	+9	+9.0	34	22	▲11	▲34.1
	営業利益率 (%)	14.0	14.2	+0.2P	-	17.7	12.0	▲5.8P	-
その他	売上高	33	31	▲2	▲6.4	10	10	▲0	▲3.3
	営業利益	1	1	+0	+3.5	1	1	+0	+29.5
	営業利益率 (%)	5.2	5.7	+0.6P	-	9.6	12.8	+3.2P	-

注：売上高は外部顧客への売上高を記載、営業利益率は外部顧客売上高に対する営業利益率

装置事業セグメント概況

《4Q累計前年比較》 売上高



映像装置

YoYで一般映像が3%の増収にとどまるもシネマが新興国でのDCP需要を取り込んで4割増収

光学装置

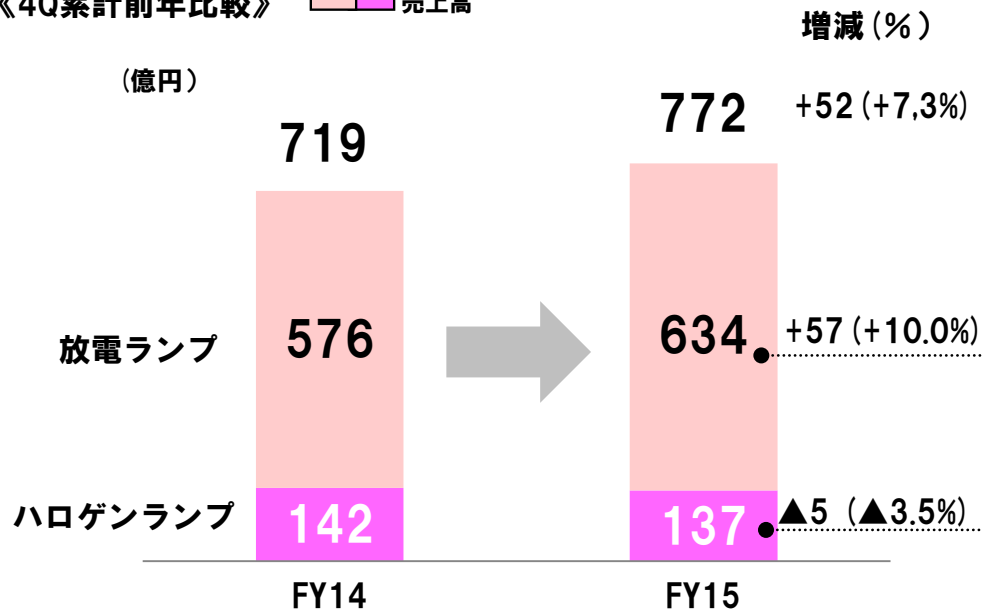
YoYでUV装置は2割増収、キュア装置は光配向の売上増で4割増収

《4Q累計前年比較》 (億円)		FY14 通期累計	FY15 通期累計	YoY	《4Q直前四半期比較》 (億円)		3Q	4Q	QoQ
売上高	映像装置	603	703	+99	売上高	映像装置	201	154	▲46
	光学装置	212	259	+46		光学装置	58	80	+22
	照明装置他	23	24	+0		照明装置他	2	10	+7
合計		840	987	+146	合計		262	245	▲16

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

光源事業セグメント概況

《4Q累計前年比較》 売上高



放電
ランプ

YoYでシネマ用クセノンランプと固体光源が牽引し10%増収

ハロゲン
ランプ

YoYでOA用は新興国での景気低迷を反映し3.5%減収

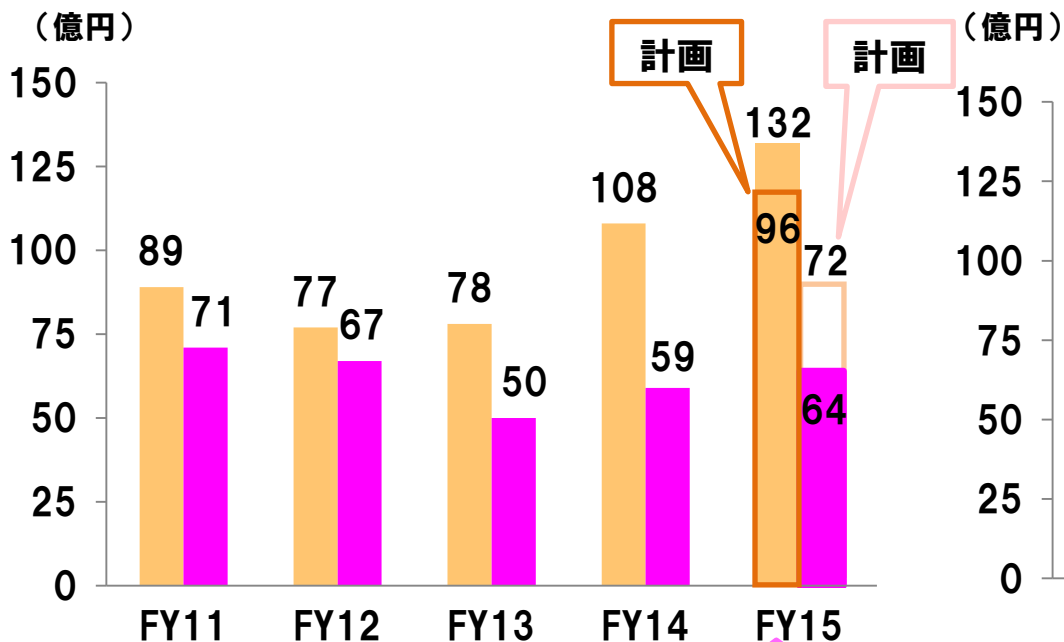
《4Q累計前年比較》 (億円)	FY14	FY15	YoY	《4Q直前四半期比較》 (億円)	3Q	4Q	QoQ
	通期累計	通期累計			売上高	売上高	
売上高 放電ランプ	576	634	+57	売上高 放電ランプ	156	156	▲0
ハロゲンランプ	142	137	▲5	ハロゲンランプ	34	33	▲1
合計	719	772	+52	合計	190	189	▲1

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

設備投資額・減価償却費・研究開発費

◆設備投資額・減価償却費

■ 設備投資額 ■ 減価償却費
□ 設備投資額 (計画) □ 減価償却費 (計画)

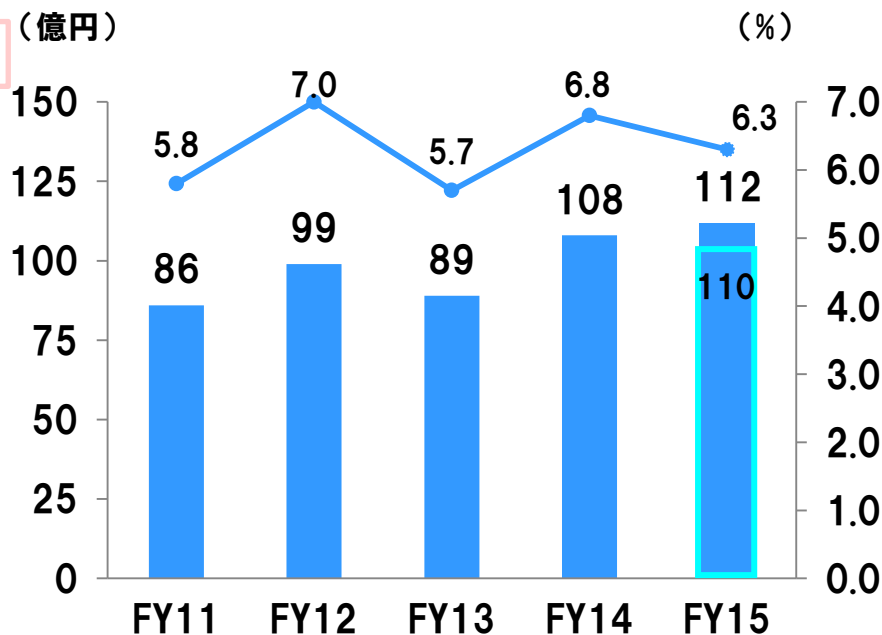


設備投資額に含まれるM&Aによる
 「のれん」等の額
 FY14 (通期) . . . 36億円
 FY15 (通期) . . . 47億円

	1Q	2Q	3Q	4Q
FY14 (通期)	19	10	46	55
FY15 (通期)	15	15	16	17

◆研究開発費

■ 研究開発費 ●—● 売上高研究開発費率 (%)
□ 研究開発費 (計画)



	1Q	2Q	3Q	4Q
FY15 (通期)	25	27	26	32

営業外収支《通期累計》

(億円)	FY14	FY15	YoY
営業外収益	37	23	▲14
受取利息	8	7	▲0
受取配当金	10	11	+1
為替差益	7	0	▲7
売買目的有価証券運用	4	-	▲4
その他	7	4	▲2
営業外費用	3	8	+4
支払利息	1	2	+0
持分法による投資損失	0	0	▲0
売買目的有価証券運用	-	3	+3
その他	1	2	+0
営業外収支	33	15	▲18

BS内訳

◆資産

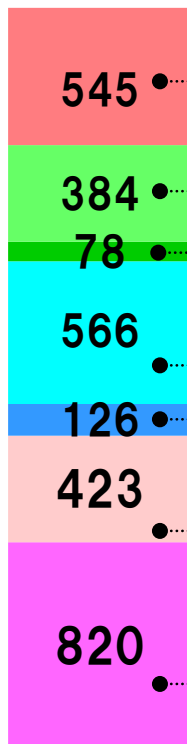
(億円)

2,945



2015/3

2,945



2016/3

増減

▲0

▲61 現預金

▲13 受取手形・売掛金

▲56 有価証券

+43 たな卸資産

+1 その他流動資産

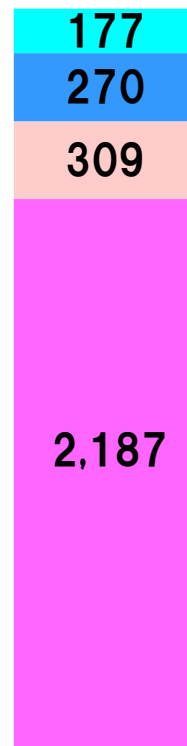
+22 有形固定資産

+62 無形固定資産・
投資その他の資産

◆負債・純資産

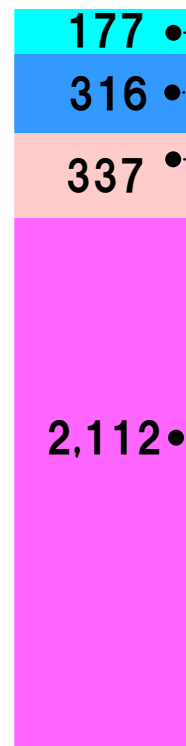
(億円)

2,945



2015/3

2,945



2016/3

増減

▲0

+0 支払手形・買掛金

+45 その他流動負債

+28 固定負債

▲74 純資産

●回転月数(ヶ月)

2015/3

2016/3

売上債権

3.0

2.6

たな卸資産

3.5

3.8

●自己資本比率(%)

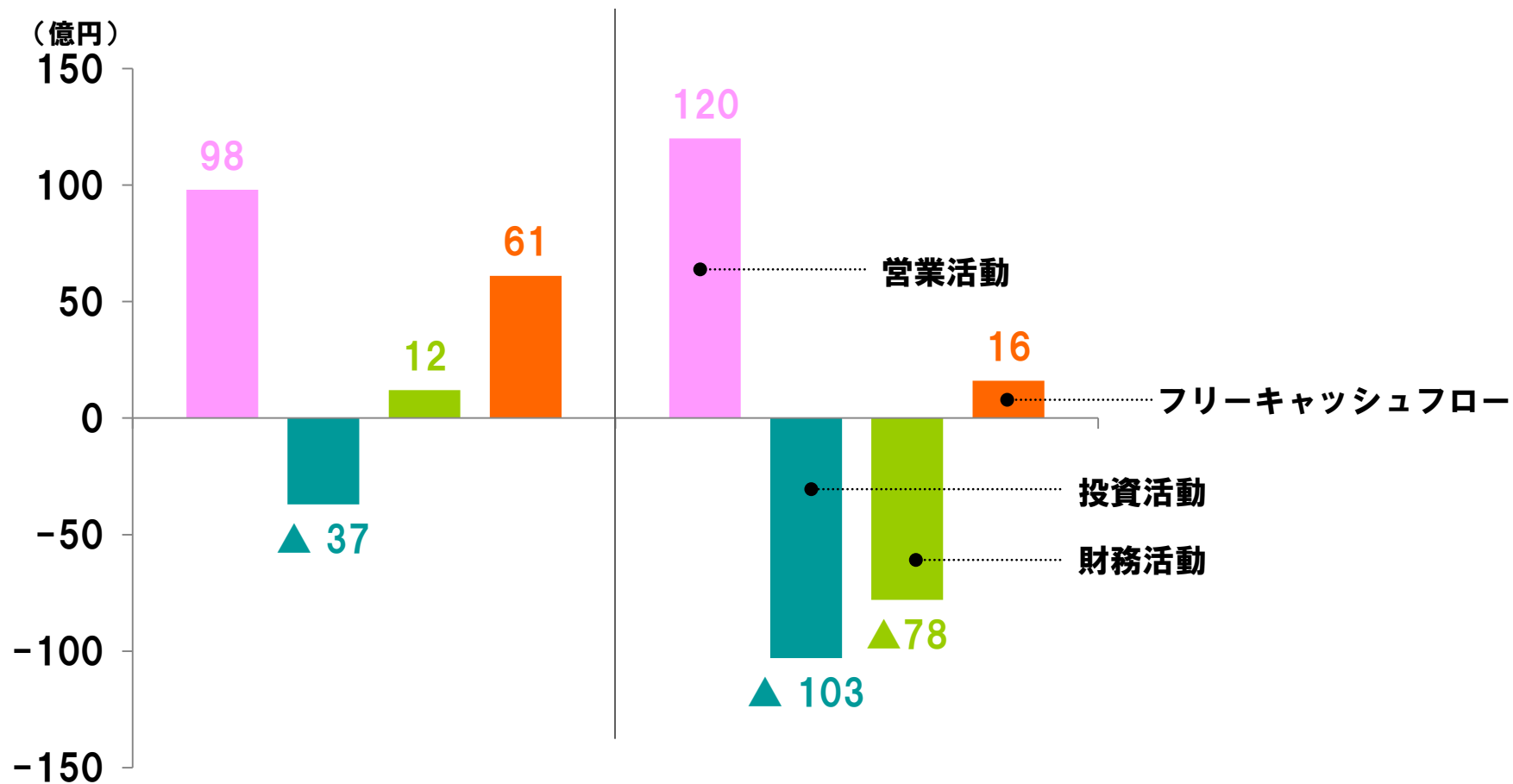
2015/3

2016/3

73.3

70.9

キャッシュフロー

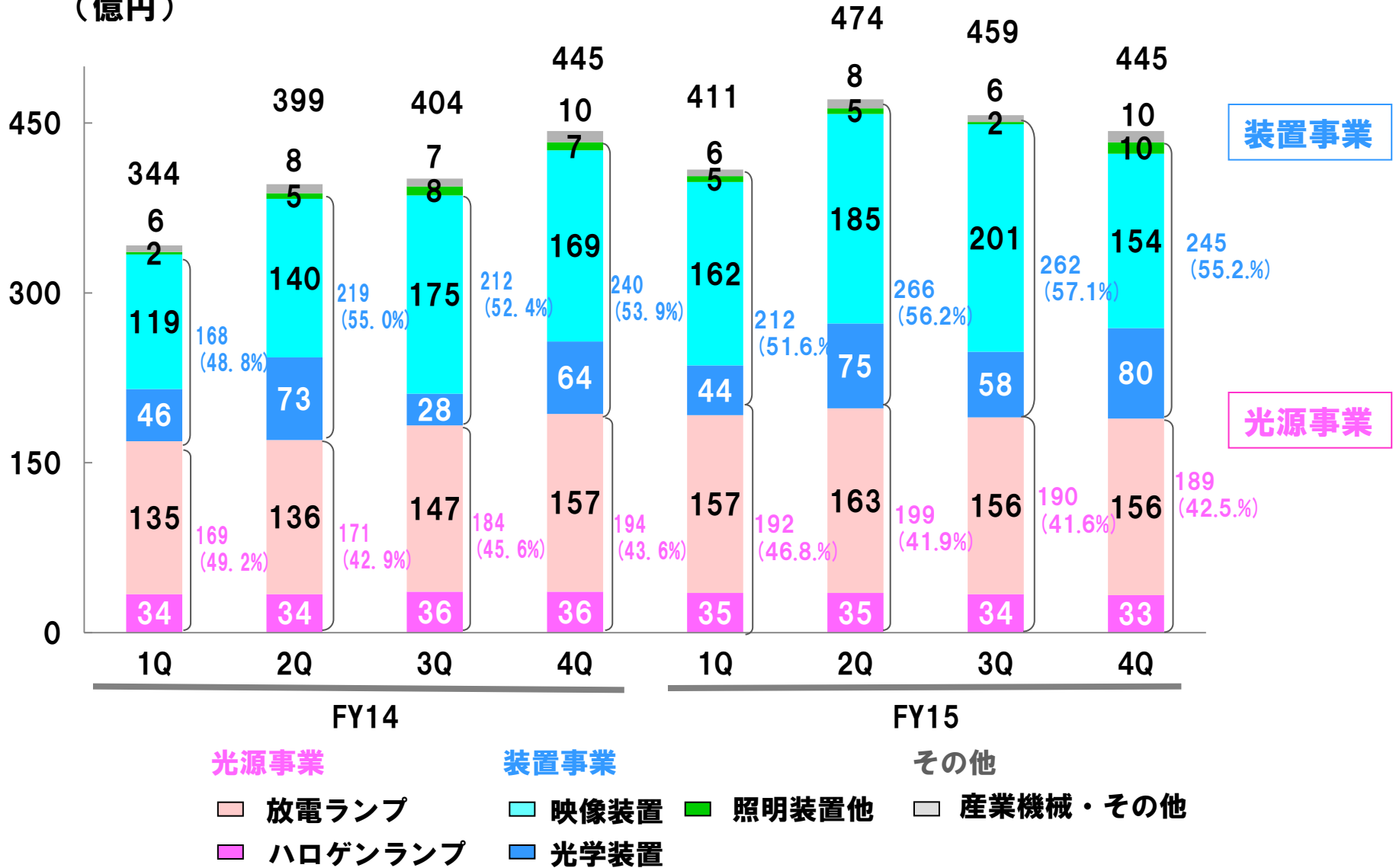


FY14	
期首現金残高	453
期末現金残高	569

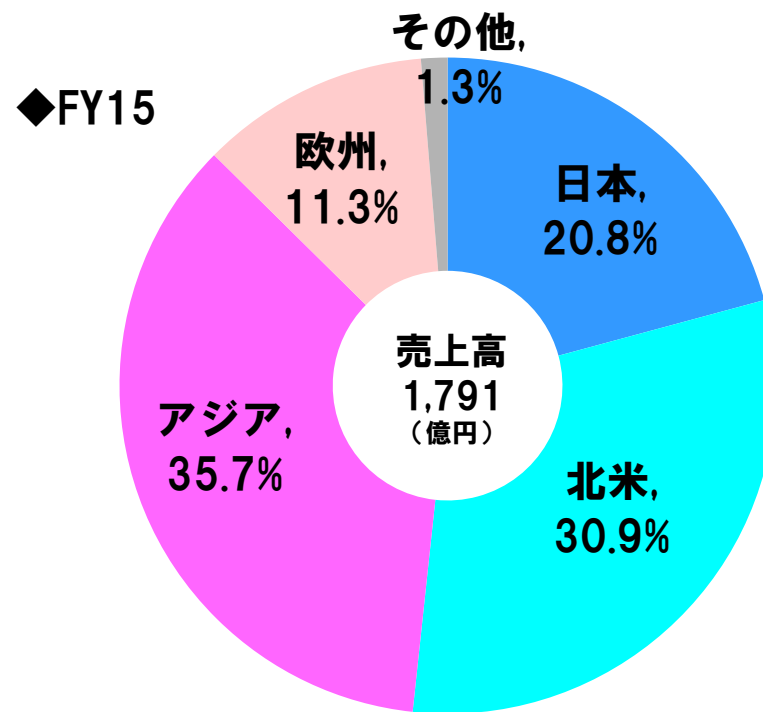
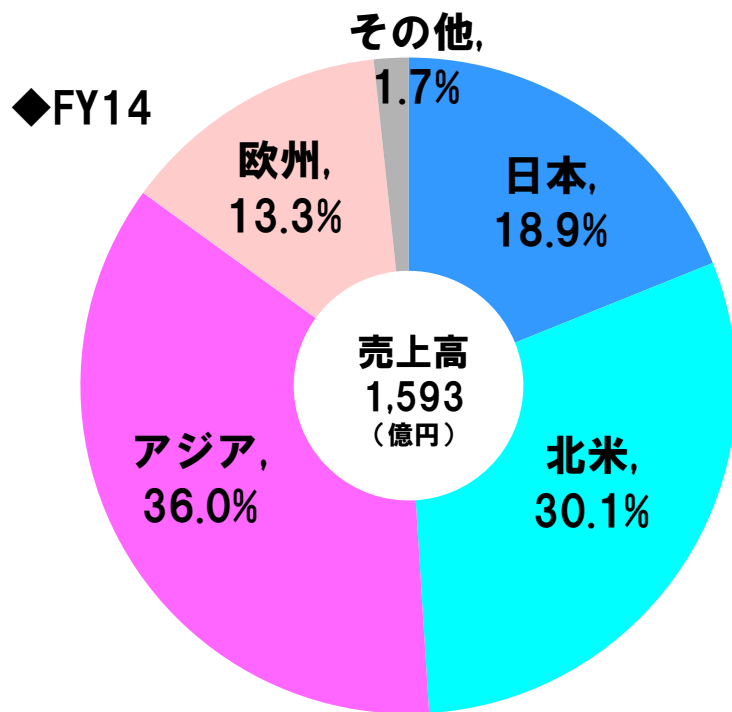
FY15	
期首現金残高	569
期末現金残高	478

ご参考：サブセグメント別売上高

(億円)



ご参考：海外売上高比率《通期累計》



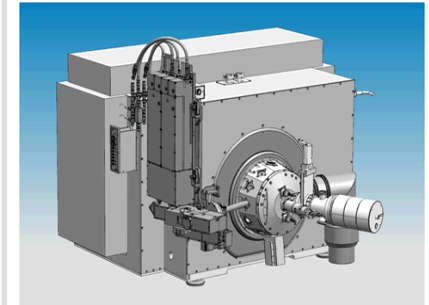
ご参考：第4四半期におけるプレスリリース（要旨）

**オランダ研究機関に 高輝度EUV光源を初出荷
—次世代露光プロセス向けマスク検査装置用光源市場に新規参入—**

**2016.2.15
プレスリリース**

要旨：
半導体プロセスにおけるコンタミネーションコントロールの研究開発機関TNO（オランダ・ハーグ）にスズ式LDP EUV光源（検査用）を出荷する。ウシオは検査用光源をマスク検査装置メーカーに提供することでデバイスメーカーおよびマスクメーカーのマスク検査プロセスを支援する。

光源の特長：
スズ式光源のため、クセノン光源に比べ、およそ5倍から10倍の輝度と出力を達成することが可能。EUV露光に伴うEUVマスク検査のスループット向上にも対応。



**メディカルスキンケアブランド「サンソリット」買収
—スキンケア事業拡大へ—**

**2016.3.16
プレスリリース**

要旨：
ウシオはサンソリットの買収によりサンソリットが保有するクリニックとの強いチャネルを通じて、美容と医療が融合した美容医療分野に進出し、スキンケア事業の拡大を目指す。サンソリットはウシオの海外現地法人を通じ、アジアを中心とする海外市場においてサンソリットブランドを展開することで事業の拡大を図る。

株式会社サンソリット：
1999年設立。約2500の皮膚科、美容皮膚科、美容外科にケミカルピーリング用製品を販売。



-
- I. 2015年度通期業績概況
 - II. 2016年度業績予想**
 - III. 中期経営計画

2016年度業績予想

(億円)	FY15	FY16 (予想)	YoY		2Q/FY16 (予想)
			増減	%	
売上高	1,791	1,900	+108	+6.1	900
営業利益	131	135	+3	+2.8	60
営業利益率 (%)	7.3	7.1	▲0.2P	-	6.7
経常利益	146	145	▲1	▲0.9	65
親会社株主に帰属 する当期純利益	111	115	+3	+3.5	47
EPS (円)	85.83	89.37	+3.54	+4.1	36.53
ROE (%)	5.2	5.4	+0.2P	-	-
配当 (円)	26	26	+0	-	-
配当性向 (%)	30.3	29.1	▲1.2P	-	-
設備投資額	132	80	▲52	▲39.5	-
減価償却費	64	70	+5	+7.8	-
研究開発費	112	120	+7	+6.9	-
為替レート (円)					
USD	121	115	-		115
EUR	133	125	-		125

サブセグメント別 売上高予想

(億円)		FY15	FY16 (予想)	YoY	
				増減	%
装置事業	映像装置	703	810	+106	+15.2
	光学装置	259	280	+20	+7.9
	照明装置他	24	25	+0	+2.5
	小計	987	1,115	+127	+12.9
光源事業	放電ランプ	634	635	+0	+0.1
	ハロゲンランプ	137	130	▲7	▲5.6
	小計	772	765	▲7	▲0.9
その他事業	産業機械・その他	31	20	▲11	▲36.8
合計		1,791	1,900	+108	+6.1

注：売上高は、外部顧客への売上高を記載

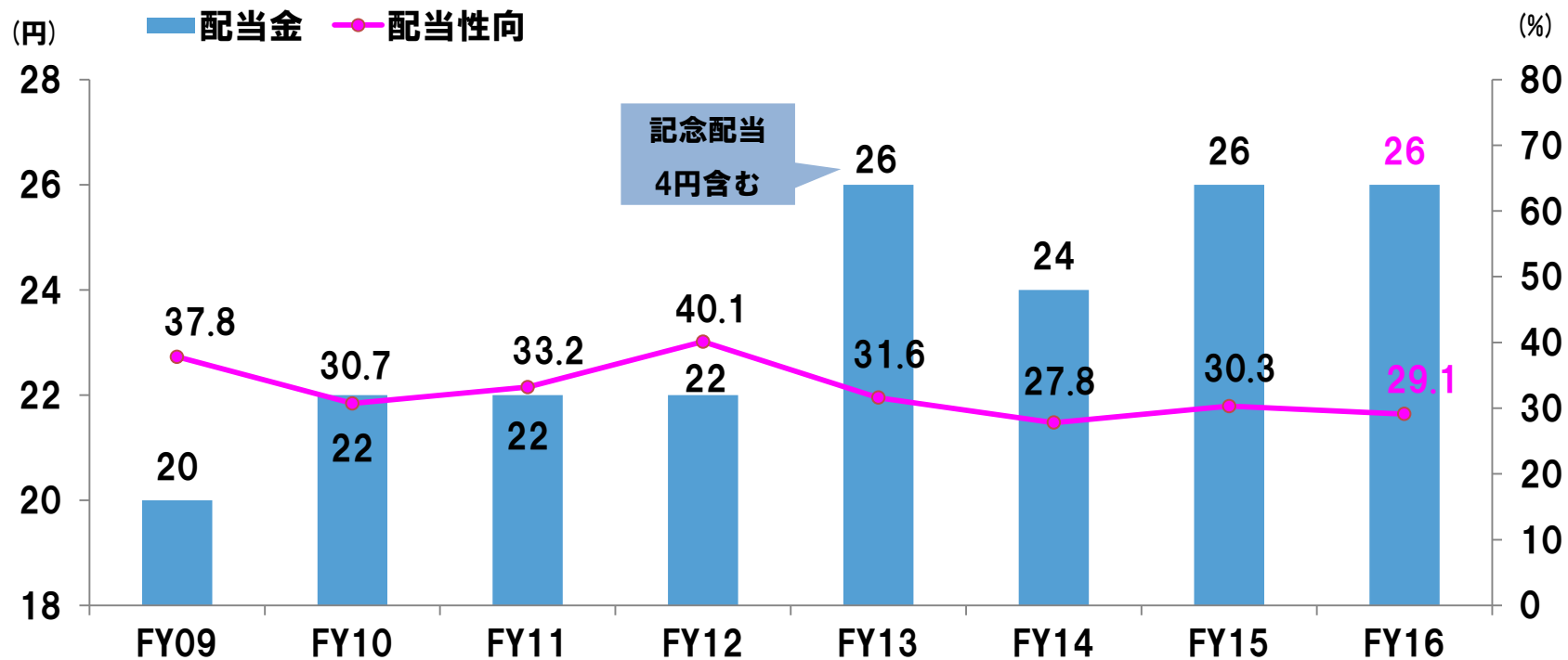
主なサブセグメント別 事業予想

装置事業 +12.9%	映像装置 +15.2%	<ul style="list-style-type: none">• DCPの販売台数はほぼ横ばいを維持• ドルビーシネマの拡大によるレーザープロジェクターの販売増• シネマ、一般映像によるトータルソリューションビジネスの拡大
	光学装置 +7.9%	<ul style="list-style-type: none">• 投影露光装置の台数は今期並み。インクジェットノズル用、OLED向けドライバーIC用、パッケージング用など。光配向装置の出荷は増加
光源事業 ▲0.9%	放電ランプ +0.1%	<ul style="list-style-type: none">• 固体光源は増収するもののランプはほぼ前期並み、または微減収
	ハロゲンランプ ▲5.6%	<ul style="list-style-type: none">• 新興国でのモメンタムを反映し、減収

※増減率は対FY15実績

株主還元

◆2016年度配当金(26円)



◆自己株取得予定

2016年5月12日～11月11日の期間において株式67万株、総額10億円。

その後も機動的に実施。

-
- I. 2015年度通期業績概況
 - II. 2016年度業績予想
 - III. 中期経営計画**

1. 移行の理由

取締役会の更なる監督機能の強化を図るとともに、重要な業務執行の一部について、その決定を業務執行を担う取締役および執行役員へ委任することによる意思決定の迅速化を推進するため。

移行時における取締役会は、その過半数を社外取締役ににより構成する予定。

2. 移行の時期

6月29日に開催予定の第53期定時株主総会において、必要な定款変更に関する承認を受け、監査等委員会設置会社に移行する予定。

詳しくは、お手元の2016年3月28日付プレスリリースをご覧ください。

目次

1.本中期経営計画における達成目標

2.前中期経営計画における施策の振り返り

3.本中期経営計画における重点施策

4.企業価値向上に向けて

5.事業別中期経営計画

a.サブセグメント別売上高

b.装置事業（b-1.映像装置 b-2.光学装置）

c.光源事業

1. 本中期経営計画における達成目標

2018年度（2019年3月期）達成目標

営業利益 200億円

売上高 2,300億円 営業利益率 8.7%

高収益企業への変革

2. 前中期経営計画における施策の振り返り

施策

①事業収益の拡大

- ① リソース配分の見直し・再配分
- ② ソリューションビジネスへの転換
- ③ 新規市場への進出
- ④ M & A投資の拡大

②資本効率の向上

金融資産の事業資産化

③株主還元の強化

実施（2015年度）

- ・ 権限委譲による経営スピードアップ
 - ・ R&D投資効率改善への取り組み
 - ・ M&A投資実績(約90億円)
 - ・ 映像画像事業のソリューション展開
 - ・ 投資案件モニタリング強化
 - ・ グループシナジー強化
(事業・地域の戦略的共同運営チーム設置)
- 自己株式買入実施（2015年度）
1回目：20.0億円
2回目：9.6億円（2016年4月8日終了）

参考 M & A 戦略 投資金額推移



目的

- ・ 企業価値向上に資するもの
- ・ シナジー効果重視

方向性

- ・ “光”の領域関連
- ・ 金額・件数の増加

参考 2015年度のM&A（一部出資含む）

既存事業

映像画像事業



【期待するシナジー】

成長分野であるデジタルサイネージ事業のトータルソリューション展開の拡大

新規事業

固体光源事業



【期待するシナジー】

- ・ 製品ラインナップ強化
- ・ グループ力強化



MAXRAY
A Harmony of Light and Space

サイエンス事業



【期待するシナジー】

光源による新規分野進出を加速



バイオ・ メディカル事業



【期待するシナジー】

- ・ 消耗品ビジネスの拡充による安定収入
- ・ 既存製品の販路拡大



3. 本中期経営計画における重点施策

既存事業における収益性の維持・改善

- ・ 光学装置事業における構造改革 第2ステージへ
- ・ 光源、装置事業のコスト競争力強化

新たな成長機会の追求

- ・ 既存製品の新規分野での展開
- ・ ソリューションビジネスの本格展開
 - 映像分野におけるソリューション型ビジネスモデルの確立
 - 他事業分野へのソリューション展開の拡大
- ・ シナジー重視のM & A投資の拡大

▼
高収益企業へ

4. 企業価値向上に向けて

方針：ROE8%以上の達成

事業収益の拡大(最優先課題)

2018年度(3年後)

営業利益200億円の達成

【既存事業】

- ・収益性の維持、改善

【新規事業】

- ・既存製品の新規分野での展開
- ・ソリューションビジネスの本格展開
- ・シナジー重視のM&A投資の拡大

収益力向上

資本効率の向上

【金融資産の事業資産化】

- ・政策保有株式の見直し
- ・M&A等成長投資へ

株主還元の強化

- ・継続的な自社株買い実施
- ・安定配当

純資産の圧縮

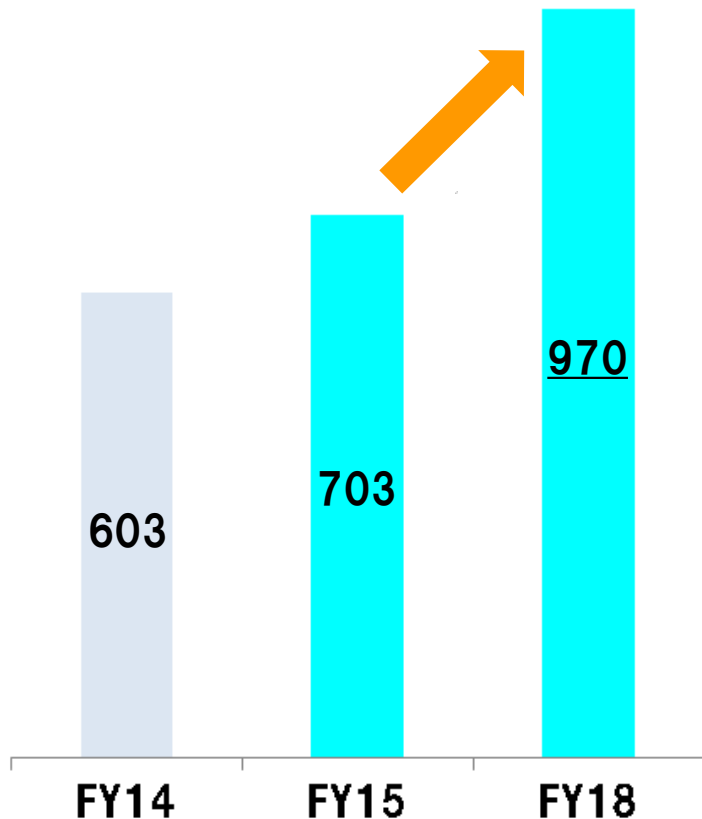
5. 事業別中期経営計画 a.サブセグメント別売上高

セグメント	サブセグメント	前年度	当年度	1年目*	3年目*	3年間の増減 (FY18-FY15)		CAGR
		FY14	FY15	FY16	FY18	(億円)	(%)	(%)
		(実績)	(実績)	(計画)	(計画)			
装置事業	映像装置	603	703	810	970	267	38	11
	光学装置	212	259	280	350	91	35	11
	照明装置	23	24	25	30	6	25	8
	小計	840	987	1,115	1,350	363	37	11
光源事業	放電ランプ (固体光源含む)	576	634	635	790	156	25	8
	ハロゲンランプ	142	137	130	130	▲7	▲5	▲2
	小計	719	772	765	920	148	19	6
その他	産業機械・他	33	31	20	30	▲1	▲3	▲1
合計		1,593	1,791	1,900	2,300	509	28	9
全社	営業利益	103	131	135	200	69	53	15
	営業利益率 (%)	6.5	7.3	7.1	8.7	1.4p	-	6

*中期経営計画の為替前提：1US\$ = 115円 1EURO = 125円

目標 売上高(FY2018)

970億円
(対FY15 : +267億円 38%増)



事業環境と戦略

シネマ →

(+) 新興国向け、及びプレミアムシネマスクリーンの拡大継続

(+) ハイエンドシネマの提供拡大

(レーザープロジェクター + オーディオシステム等)

一般映像 →

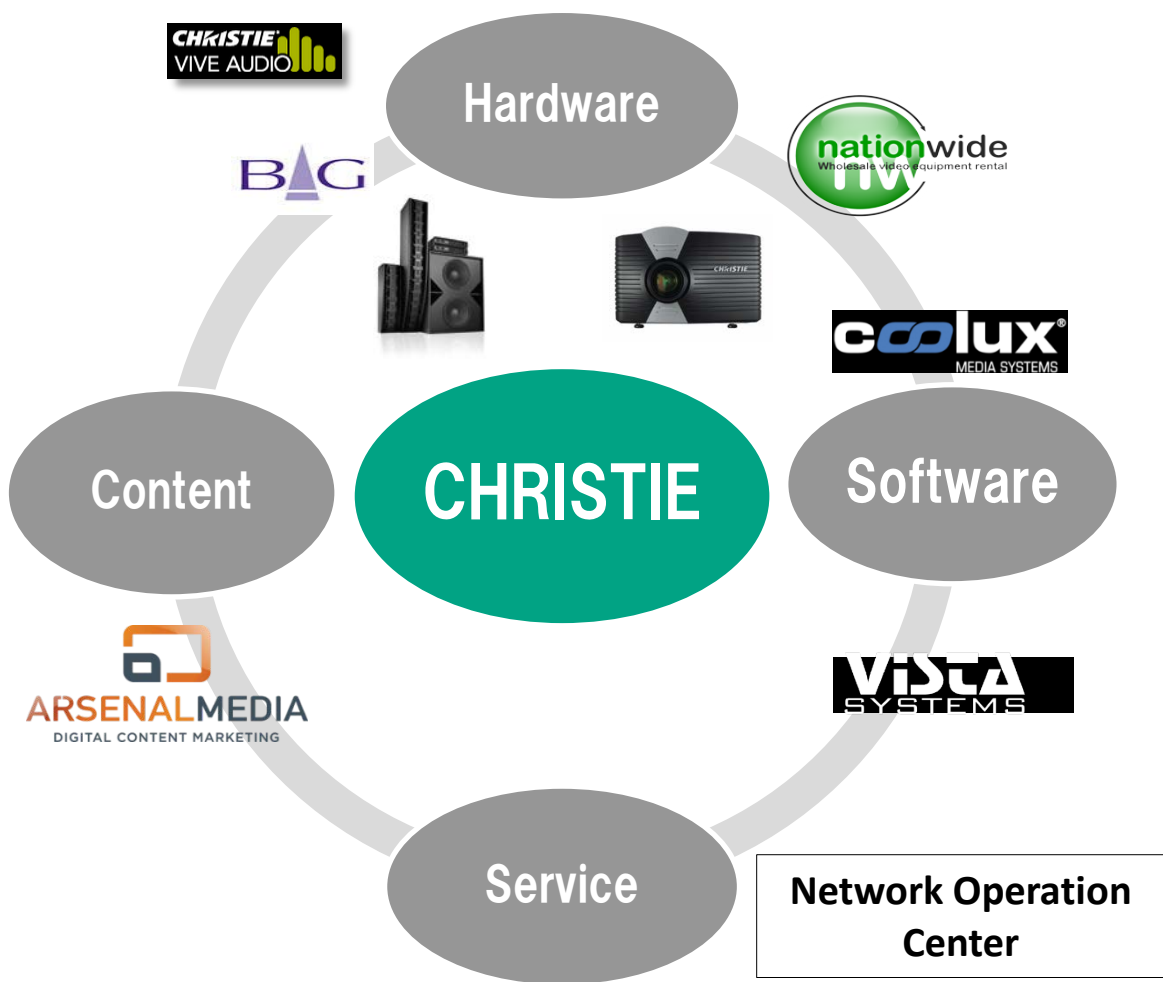
(+) 成長分野であるデジタルサイネージ事業の拡大

施 策

トータルソリューションビジネスの拡大

- ・ソリューション提供型ビジネスモデルの確立
- ・安定収入モデルの確立

映像画像のトータルソリューション展開



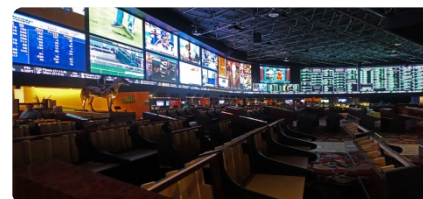
シネマ



プロジェクション・マッピング



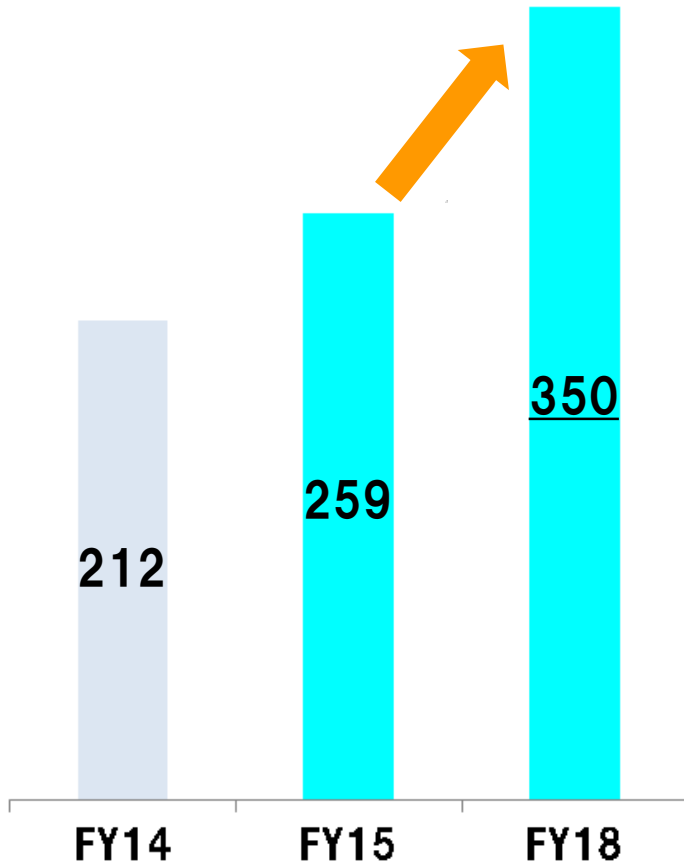
デジタルサイネージ & ロビー広告



5. 事業別中期経営計画 b.装置事業 b-2.光学装置

目標 売上高(FY2018)

350億円
(対FY15: +91億円 35%増)



事業環境と戦略

UV装置 →

- (+) 半導体実装技術の変革
- (+) 車載・インフラ投資、データセンター拡大
- (+) OLED化による投資機会
- (-) スマートフォンの成長鈍化

キュア装置 →

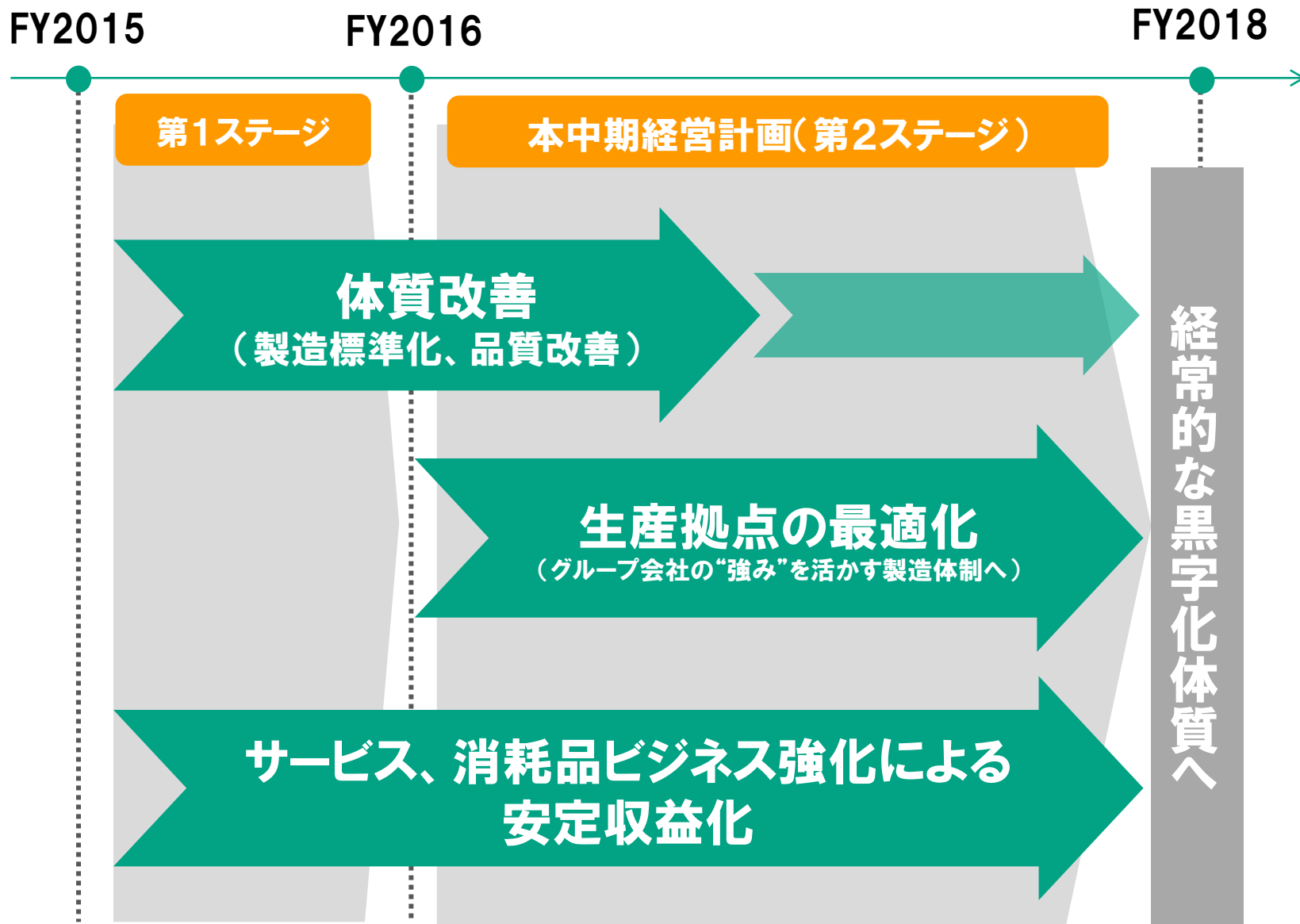
- (+) 中国、液晶投資継続
- (+) 中小型液晶の高精細化ニーズ継続
- (-) 液晶のOLED化による需要減

施策

経常的な黒字化を目指した構造改革

- ・グループ戦略の見直し

参考 光学装置事業における構造改革



方針 第三の柱となる事業とすべく投資を継続

事業戦略

- 4つの事業に集中

- ① スキンケア事業
- ② バイオ検査・診断事業
- ③ バイオマーカー事業
- ④ 血管アクセス装置事業

① スキンケア事業



② バイオ検査・診断事業



③ バイオマーカー事業



④ 血管アクセス装置事業



- グループ連携強化によるグループ収益拡大

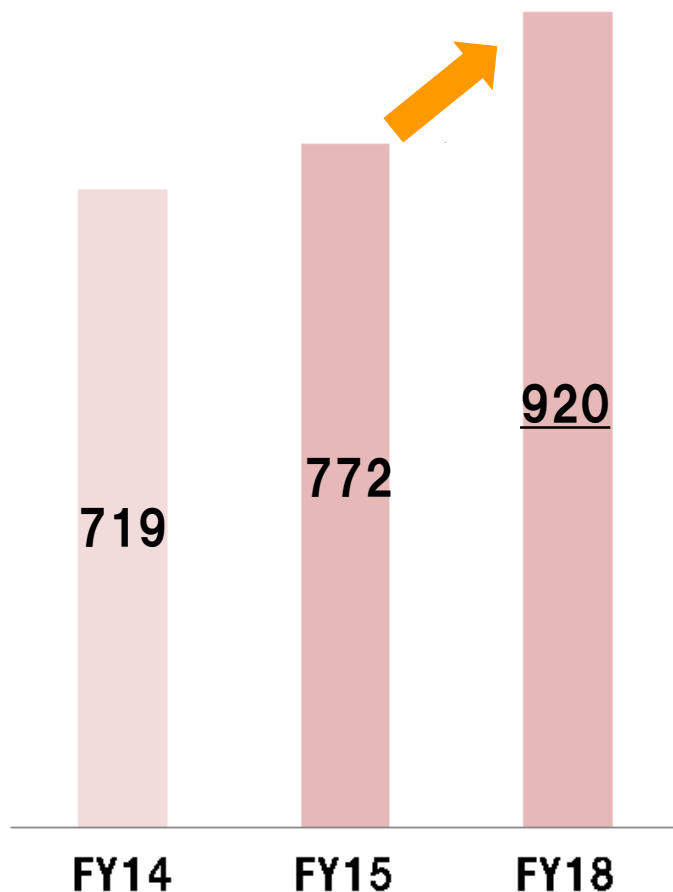
(中国市場を戦略的地域とする)

- 積極的なM&Aの活用

事業自立ステージへ

目標 売上高(FY2018)

920億円
(対FY15: +148億円 19%増)



事業環境と戦略

UVランプ →

(-) 市場成熟 (+) 差別化促進(高効率、長寿命)

シネマ用ランプ →

(+) 新興国需要増 (-) 価格競争激化

データプロジェクタ用ランプ →

(-) 市場低成長 (+) ローエンド強化でシェア拡大

新規分野 →

(+) 環境・衛生・自動車など成長分野に参入

固体光源 →

(+) ラインナップ強化による新規分野進出

施 策

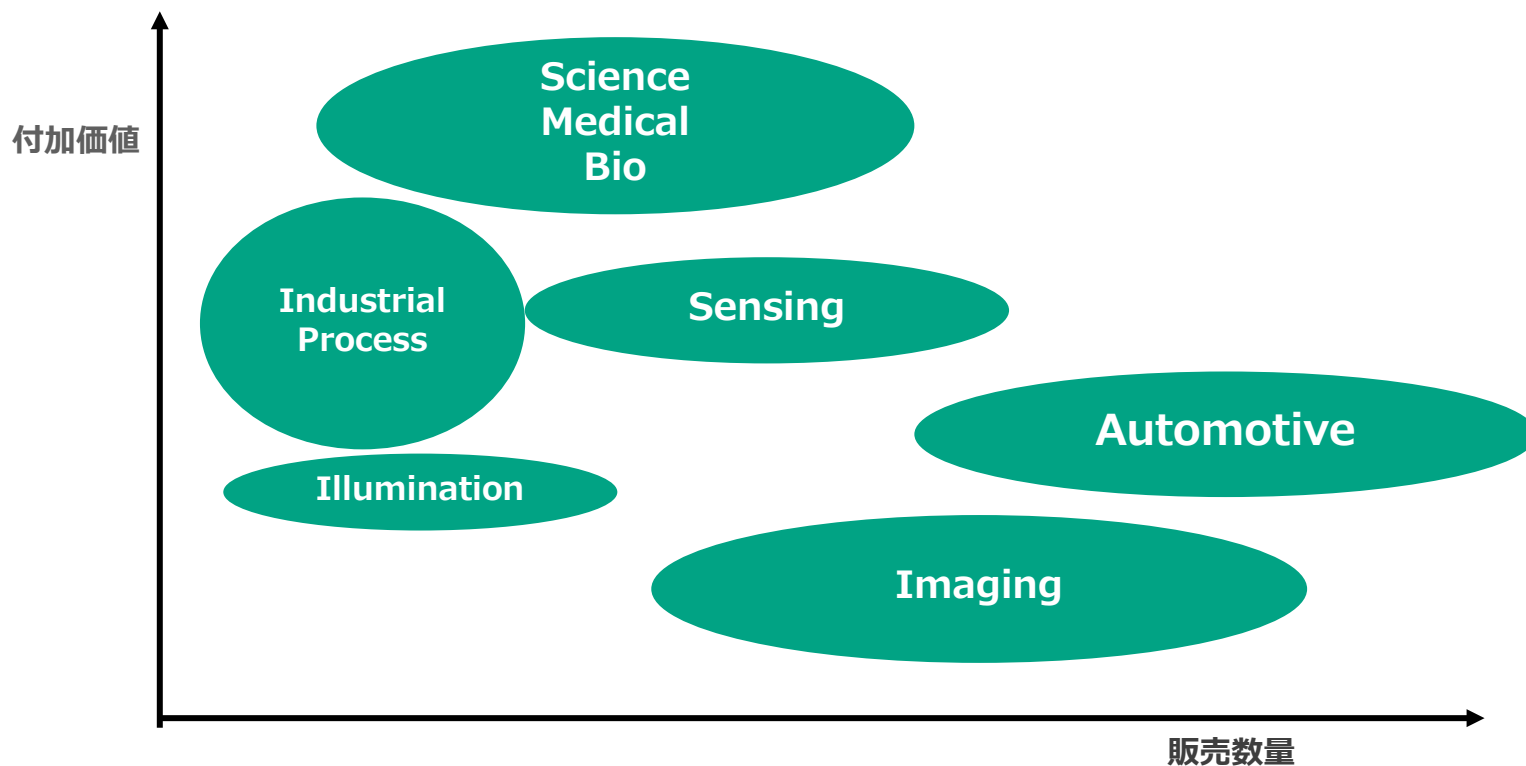
「収益性の維持」と「持続的成長」

[既存] シェア維持と製造コスト改善

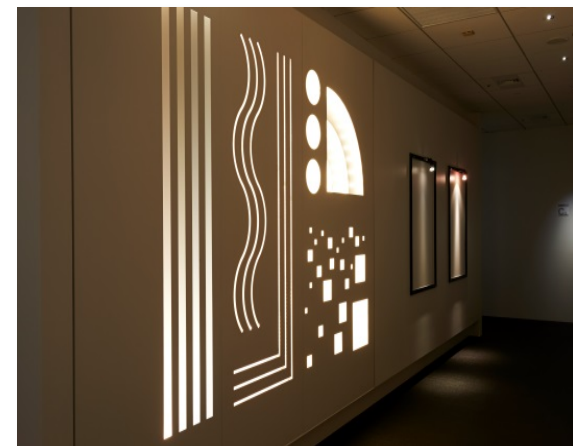
[新規] 成長市場へ積極的に参入

参考 固体光源事業

- 固体光源市場における独自ポジション確立
- 産業用領域を中心とした6つの事業ドメインに特化



参考 オープンイノベーションへの取り組み 本社ショールーム



USHIO

本資料に関するお問い合わせ先
ウシオ電機（株）経営企画部
（03）5657-1007
contact@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/>